

# サードワークスペース研究部会

毎年活動しています。

例年20～30社程度ご参加いただいています。是非、ご参加お待ちしております

## 【部会の目的】

テレワークの活用で「企業の生産性を上げ、同時に個人のQOLを向上させる」ワークスタイルを追求し続けることを目標とし、2017年度に発足し、オフィス・自宅以外のサードワークスペースの活用をテーマに、働く場所についての理解を深め、メンバーでディスカッションしながら進めています。オンライン、ハイブリッド、合宿スタイルもあるので是非ご参加ください。

## 【これまでの活動成果】

地方のシェアオフィスやワーキングスペースの視察、講演、テーマを決めたディスカッション年間7～8回の部会を通じて年度末にレポートや成果のまとめを発表している。

### <2020年度 全6回リモート開催>

「テレワーク高度化に向けて

COVID-19とサードワークスペース」 研究部会報告

### <2021年度 全7回リモート開催>

「ABWを踏まえたニューノーマルワークスタイル」

レポート発表

### <2022年度 全7回リモート開催>

「転換期を迎えるサードワークスペース

メタバース・ワーケーションの台頭」 レポート発表

### <2023年度 全7回ハイブリッド開催（うち1回長崎合宿）>

今年度からリアル+リモートのハイブリッド開催とした。コワーキングスペースの企業利用について、参加企業様の情報からディスカッションを深め、かつ合宿を通じて地域のコワーキングスペース運営実態などを視察し、参加企業が多くの知見を共有できるような運営に努めている。



「長崎のコワーキングスペースと合宿の様子」



## 【2024年度活動計画】

コロナ5類移行後、オフィス出勤率の増加がみられましたが、在宅勤務の実施率も再び増えた調査結果もあり、ハイブリッドワークも広がっているなかで、働く場の活用、コミュニケーションやコミュニティ、ツールの活用等について研究を行います。

### <参加のメリット>

#### 1. サードワークスペースに関する情報と知見の獲得

参加企業各社の研究、調査内容に関するレポート報告やメンバーのビジネスを通じた情報提供などを通じて、毎回色々な意見を確認でき、知見の幅が広がります。

#### 2. メンバー相互の交流による新たな関係構築

部会活動や懇親会を通じて、新しい仲間との交流ができ、新たなビジネスの可能性が広がります。

<募集期間> 24年6月

<活動期間> 24年7月～25年3月（月1回程度開催）

<実施形式> リアル・リモート交互開催でリアルはハイブリッドとし、1回は合宿を予定